



志木二小だより

<http://www.shiki2syo.ed.jp/> 志木二小

令和4年度 2月号
志木市立志木第二小学校
志木市館1丁目2番1号
TEL 472-0540

学校教育目標 **進んで学ぶ子 心の豊かな子 体をきたえる子**

児童数	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	たんぽぽ	2/1現在
82	90	87	74	95	72	12	512	

新しい芽吹きに向けて

校長 松本 秀之

暦の上では立春。まもなく春がやってきます。校庭の桜の木や少し芽を覗かせている植木鉢の球根を見ながら、この厳しい寒さを耐え抜いているからこそ、見事な花を咲かせ、さらに生長していくことができるのだらうと感心します。そんなことを考えながら校庭に目をやると、寒空の下、半袖で校庭を走り回る子供たちの姿に、何とも嬉しい気持ちでいっぱいになります。

さて、2月3日節分は、豆まき・恵方巻で有名ですね。また、2月4日立春は、「茶摘み」の歌詞「夏も近づく八十八夜」の起点となる日。実は、その両日より前に、ある起点となる日があるのです。それが、2月1日です。

待ち遠しい春と言えば桜。柳瀬川沿いに満開の桜が今からとても楽しみです。【桜の開花600℃の法則】というものをご存じですか。2月1日以降の日最高気温の合計が600℃に達すると開花とする、というものです。

桜の花は、前年の夏には芽ができ、秋から冬にかけて、生長しないように休眠状態に入って年を越します。そして気温がぐっと高まった段階で休眠状態から目覚めます。これを「休眠打破（きゅうみんだは）」といいます。

2月1日をこの「休眠打破」の日とし

て、統計を取ったところ、誤差は最大3日だったことから、この法則が生れたそうです。なお、【400℃の法則】もあるそうです。

ポイントは、休眠打破がしっかりと行われるほど、つぼみの生長は順調になるということ。子供たちの現在がつぼみであるなら、休眠打破のようなきっかけがくるその日まで、知・徳・体の基礎基本を定着させることが義務教育の最大の務めです。教職員一同、一丸となり、児童の今年1年の学びを、そしてこれまでの蓄積を振り返り、各学年でまとめを行ってまいります。令和4年度残り2か月、御協力よろしくお願いいたします。

ちなみに、今年の東京の開花予想は、3月21日だそうです。

～ スーパーあいさつ名人 ～

2学期に取り組んできた「あいさつ名人」キャンペーン。児童会を中心にして、全校児童が達成できるよう取り組んできました。

その甲斐あってか、子供たちの元気なあいさつが校内に響き渡っていました。特に、1年生は休む間もなく、あいさつのシャワーを浴びせてくるほど。全員があいさつ名人になることができました。

2月からは、キャンペーン第2弾の開始です。今回は「スーパーあいさつ名人」目指して、さらに気持ち良いあいさつ溢れる志木二小になることを期待します。